2026 年 11 月 9 日
日本銀行松江支店

山 陰 の 金 融 経 済 動 向

（概況）

山陰の景気は、持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、堅調に推移している。住宅投資は、減少傾向にある。設備投資は、緩やかに増加している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。

製造業の生産は、持ち直している。

この間、雇用・所得環境をみると、持ち直している。

１．最終需要の動向

（１）個人消費

個人消費は、堅調に推移している。

○　百貨店売上高は、横ばい圏内で推移している。量販店売上高は、堅調に推移している。ホームセンター販売額は、弱めの動きとなっている。

○　家電販売額は、持ち直している。

○　新車登録台数は、横ばい圏内で推移している。

○　観光関連のうち宿泊客数は、堅調に推移している。

（２）住宅投資

住宅投資は、減少傾向にある。

（３）設備投資

設備投資は、緩やかに増加している。

○　短観の設備投資計画をみると、2026 年度は、非製造業において店舗改装等がみられるものの、製造業において前年の積極的な能力増強投資の反動がみられることから、前年を下回る計画となっている。

（４）公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

２．生産の動向

生産は、持ち直している。

○　鉱工業生産を業種別にみると、電気機械は、持ち直している。鉄鋼は、横ばい圏内で推移している。はん用・生産用・業務用機械（旧：一般機械）は、振れを伴いつつも、横ばい圏内で推移している。食料品は、横ばい圏内で推移している。紙・パルプは、弱めの動きとなっている。木材・木製品は、横ばい圏内で推移している。繊維は、横ばい圏内で推移している。

３．雇用・所得の動向

雇用・所得環境をみると、持ち直している。

４．物価の動向

○　消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、鳥取市、松江市とも前年比 1%台半ばのプラスとなっている。

５．金融面の動向

○　金融機関（銀行・信用金庫計）の総預金残高（末残）をみると、前年を上回って推移している。

○　貸出金残高（末残）をみると、前年を上回って推移している。

○　貸出約定平均金利（総合・ストックベース）は、緩やかに上昇している。

以　上